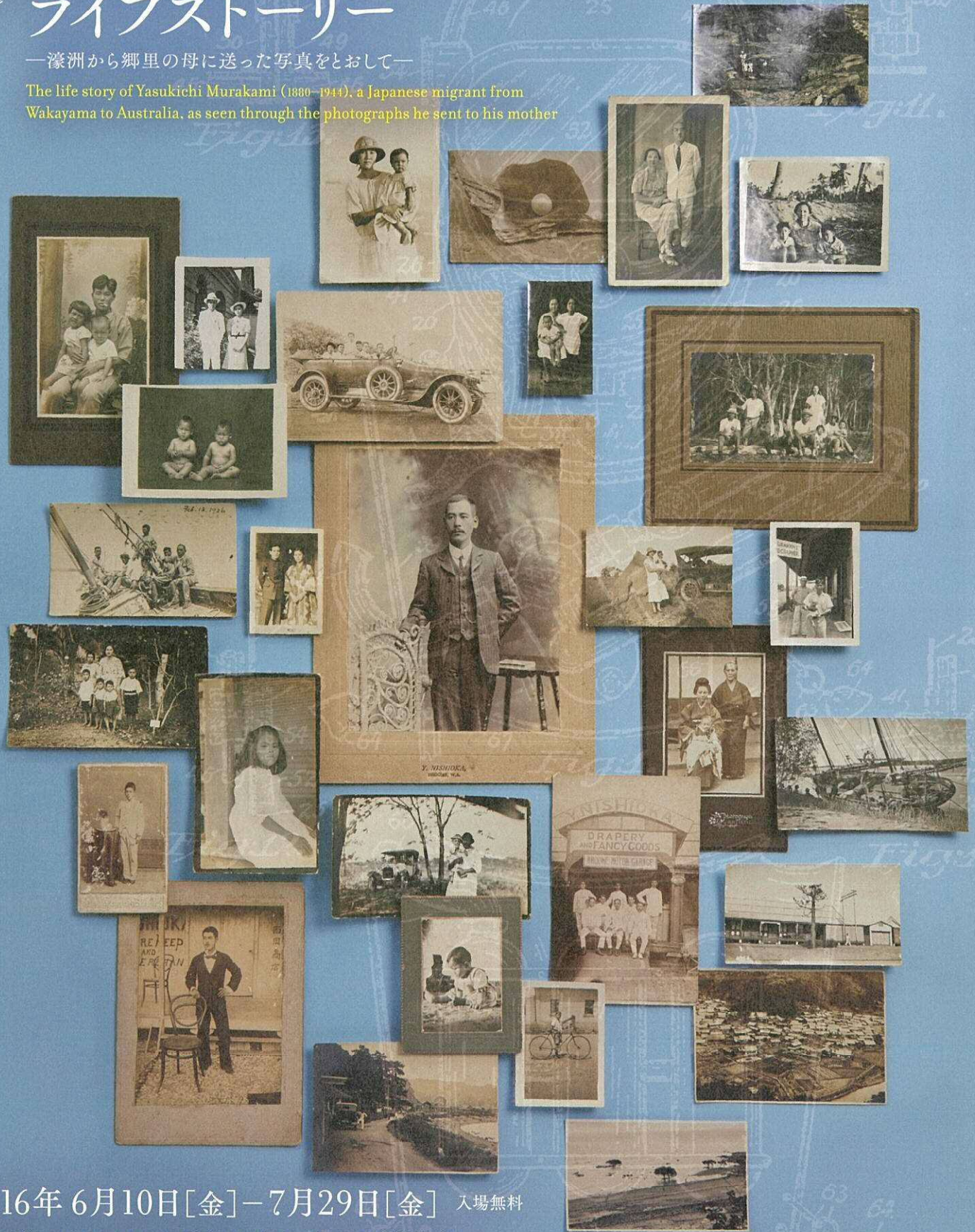


《企画展》

村上安吉 和歌山移民 1880-1944 の ライフストーリー

— 濠洲から郷里の母に送った写真をととして —

The life story of Yasukichi Murakami (1880-1944), a Japanese migrant from Wakayama to Australia, as seen through the photographs he sent to his mother



2016年6月10日[金] - 7月29日[金] 入場無料

開館時間 = 10:30-16:00 休館日 = 土・日・祝日・図書館閉館日

* 初日の6月10日[金]は15:00開館、6月11日[土]は特別開館、7月17日[日]10:00-15:00 オープンキャンパスにつき、特別開館します。

主催 = 和歌山大学紀州経済史文化史研究所

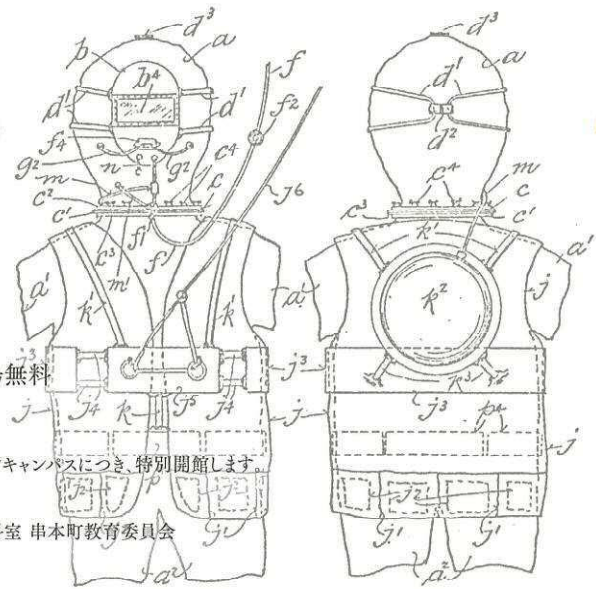
共催 = オーストラリア学会 成安造形大学 (公財)和歌山県国際交流協会 協力 = 太地町歴史資料室 串本町教育委員会
助成 = 平成28年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

和歌山大学紀州経済史文化史研究所 展示室(附属図書館棟3階)



村上安吉 和歌山移民 1880-1944 の ライフストーリー

—濠洲から郷里の母に送った写真をととして—



村上がオーストラリアで特許をとった潜水服の図面 No.1661/26



2016年6月10日[金]ー7月29日[金] 入場無料

開館時間=10:30-16:00 休館日=土・日・祝日・図書館閉館日

* 初日の6月10日[金]は15:00開館、6月11日[土]は特別開館、7月17日[日]10:00-15:00 オープンキャンパスにつき、特別開館します。

主催=和歌山大学紀州経済史文化史研究所

共催=オーストラリア学会 成安造形大学(公財)和歌山県国際交流協会 協力=太地町歴史資料室 串本町教育委員会

助成=平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

村上安吉は和歌山県東牟婁郡串本町田並生まれ。1897年、16歳で和歌山からオーストラリアに渡り、ブルーム、ダーウィンで、写真師、発明家、商人として活躍し、堪能な英語で日本人コミュニティ(日本人会)のリーダーを務めました。

1920年代、世界的な真珠産業の拠点として栄えたブルームにおいて、村上がとりくんだ研究には特筆すべきものが二つあります。

ひとつは、真珠貝を採るダイバーが着用する旧式の潜水服を改良し、より簡易で安全な呼吸装置(現在のアクアラングのようなもの)を発明したことです。村上は、このシステムで1926年にオーストラリアの特許を取得しています。

もうひとつは、真珠の養殖をはじめたことです。残念ながらこの事業は、天然真珠産業で成り立つブルームでたいへんな反感をかい、最初の真珠がほぼできあがったところで、警察によって研究施設は取り壊されてしまいます。

その後、1935年にダーウィンに移った村上は写真館を開業、営業写真師として成功をおさめます。しかし、1941年に太平洋戦争が勃発すると、村上は「敵性外国人」として家族とともにメルボルンの北に位置するタツラ強制収容所に移送されます。そして、抑留中の1944年、村上は妻と8人の子供を残し、63歳で慢性心筋症のために他界します。

自衛主義政策、戦争といった不運な時代に翻弄された村上の業績は、今日まで十分に評価されることがありませんでした。彼が撮影した多くの写真は、開戦とともに村上写真館が差し押さえられたときに消失したままです。本展は、村上が郷里の母親に送ってあったことで残った写真約400枚(南ヤス子氏所蔵)をもとに、和歌山移民のバイオニア、村上安吉の足跡をたどっていきます。

【関連企画】

公開講座「村上安吉が生きた時代—オーストラリアの日系人」

講師：永田由利子氏

オーストラリアクイーンズランド大学言語文化研究学上級客員研究員

主著『オーストラリア日系人強制収容の記録』(高文研、2002年)、共編著 *Navigating Boundaries: Asian Communities in Torres Strait, Pandanus*, 2004, など

日時=2016年6月13日[月]10:50-12:20

会場=和歌山大学附属図書館3Fマルチルーム1

参加無料・予約不要

問い合わせ先=和歌山大学紀州経済史文化史研究所

電話 073-457-7891

E-mail kishuken@center.wakayama-u.ac.jp

URL <http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>

【関連事業】

第27回オーストラリア学会全国研究大会(開催地:和歌山大学)

本大会はどなたでもご参加いただけるもので、ふたつのテーマでシンポジウムを開催します。(無料)

6月11日[土]

「オーストラリアにおけるツーリズムの諸相:アイデンティティの表現と文化交流をめぐる可能性と課題」

6月12日[日]

「『境界』を越える人びと:豪北部地域における人の移動と境界管理」

詳細は、当学会HPをご覧ください。 <http://www.australianstudies.jp>

問い合わせ先=吉田道代(和歌山大学観光学部)

電話 073-457-8561



1 | 村上と彼が改良した潜水服(ブルーム年代不詳) 2 | 妻子を運んだ村上の里帰り、母ヤスと(和歌山 1925年) 3 | 日本人会主催相模大会、三男喜三郎の初土俵(ブルーム 1928年撮影:村上安吉) 4 | 村上一家と公園の管理人一家(ダーウィン 1936年撮影:村上安吉) すべて南ヤス子氏所蔵



和歌山大学紀州経済史文化史研究所 展示室 (附属図書館棟3階) <http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/> 〒640-8510 和歌山市栄谷930

アクセス=南海電鉄和歌山大学前駅より和歌山バスで和歌山大学前(約4分)または徒歩20分